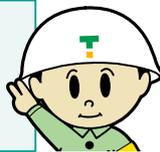


# 検査員の現場報告2



## 電柱周囲の樹木伐採は早め早めに！

原町事業所 安達 重幸

あわや高圧停電事故になるのを未然に防いだ事例をご紹介します。

### 【状況】

2023年7月の初旬頃、ある公民館の月次点検に訪れたときのことで、いつもと引込柱周りの景色が違ふと感じながら近づいていくと、お客さま受電設備の責任分界点である高圧区分開閉器をつる草が覆っており、いつ全停電事故になってもおかしくない状態でした。加えて、高圧区分開閉器の電源側までつる草が伸びていたことから、近隣周辺全体を停電させる波及事故へもつながるおそれがあり、大急ぎでお客さまのご担当者のもとに駆けつけました。

### 【調査】

お客さま立会いのもと引込柱を確認すると、隣接する樹木が電柱と同程度の高さに成長しており、そこから葛のつる草が絡まりながら伸び、電柱に装柱されている高圧区分開閉器、電線及び変成器等にまで覆いかぶさっている状態でした。

### 【原因】

前回の月次点検時には、電柱と樹木の間が大きく空いていたため接触するとは思いませんでしたが、1か月の間に想像以上に成長し、つる草が引込柱に覆いかぶさる状態にまでなっていました。お客さまも引込柱につる草が絡んでいるのは確認しておられたようですが、停電になる可能性があることまでは思いもよらなかったようです。

### 【復旧】

高圧区分開閉器の電源側までつる草が絡んでいる状態であることから、東北電力ネットワーク株式会社に状況を連絡し、伐採に協力していただくこととしました。到着後、早速、東北電力ネットワークにて高所・高圧部分のつる草の伐採作業を実施していただきました。

### 【お客さまの声】

「電気は使えていれば問題ないと安易に考えていました。周囲を巻き込む停電事故になる前に樹木伐採までやっていただき、ありがとうございます。」とお礼の言葉をいただきました。



### 【まとめ】

今回は、幸いに停電事故には至りませんでしたが、植物の成長は思っているより早く、日頃から注意深く点検することが必要だと改めて感じました。また、お客さまへは電気設備に関して日頃から分かりやすくご説明することが大切であり、今回の事象を含めて何か気になることがあったら、気軽にご連絡をいただけるようお願いをしていきたいと思えます。

また、樹木が電柱や電線に接近していると、強風や積雪による倒木で停電事故につながるおそれがありますので、できる限り電柱周辺には背の高い樹木は植えず、成長したら伐採していただくようお願いいたします。



伐採前



伐採後